

デジタル技術を使って地下鉄の乗客量を効率的に把握して、混雑状況の把握やダイヤの設定に活かしたい！！

課題



地下鉄の駅で定期的に職員が実施している、列車の混雑率※を把握するための乗客量調査について、デジタル技術を活用することで、効率的に実施したい。

※・・・輸送人員÷輸送力で算出される混雑度の指標

背景

【乗客量調査】

- 本調査は、様々な時間帯における列車の乗客数を把握するために、現状では職員が目視にて行っている。
- デジタル技術を活用することで、調査をより効率的に行うことを検討しているが、既存のカメラやセンサーの活用には、以下の課題がある。
 - カメラによる計測
駅構内防犯カメラは、車内に乗車中のお客様の数を計測できる位置に設置されておらず、車内防犯カメラは、現状では設置されていない車両が多い。
 - 車両センサーによる計測
一部の車両に重量を把握するセンサーが搭載されているが、重量により精緻な乗客数を把握することは困難である。

現場からのコメント



デプスカメラを活用した混雑状況把握の実証実験に取り組んでいる事例もある。

現場情報

※ 現場への直接のご連絡は行わないでください。

交通局電車部

都営地下鉄、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーの運転計画の策定や変更、運転に係る統計の収集作成、運行に係る安全管理等を行う部署